

伯耆町地域福祉推進プランを策定しました

町と社会福祉協議会は、地域に住むすべての人が、同じ地域に暮らす仲間として住みなれた家庭や地域の中で自分らしく安心して生活が送れるように、地域全体で支え合っていく関係づくりを推進するため、伯耆町地域福祉推進プランを策定しました。このプランは取り組みの実施状況や社会情勢、住民のニーズなどを踏まえつつ、基本的な方向性について明らかにしていくものとして策定しています。

計画の基本理念

『住民主役の誰もが安心して暮らせるまちづくり』

様々な福祉課題に対して、地域住民や地域の多様な主体が、地域の課題の解決に『我が事』として参画し、地域の人や資源が『丸ごと』つながることで幸せな地域を目指す「地域共生社会」の実現を目指します。

計画期間

令和4年度から令和8年度までの5年間

基本目標と主な施策

基本目標1

安心して暮らせる仕組みづくり

複雑で多様化・深刻化する地域の課題に対し、困っている人が、行政や専門機関などについても相談ができ、必要な支援を受けられる仕組みづくりに取り組みます。

<主な施策>

- (1)総合的な相談体制の充実
- (2)情報発信・情報共有の充実
- (3)福祉サービスの充実
- (4)権利擁護の推進
- (5)配慮が必要な人への支援

基本目標2

支え合いの地域づくり

多様化する住民の生活課題を解決するため、住民と社会福祉協議会をはじめとする福祉に関する団体と行政が協働し、支え合いの意識にあふれた地域づくりを行います。

<主な施策>

- (1)地域福祉意識の高揚
- (2)福祉ボランティア活動の推進
- (3)小地域福祉ネットワーク活動の推進
- (4)福祉活動への支援
- (5)社会福祉協議会との連携強化
- (6)災害時の防災体制の充実

基本目標3

いきいきと暮らせる環境づくり

一人ひとりが世代や背景を超えてつながり、支え合い、助け合いながら暮らすことのできる、「地域共生社会」の実現を目指し、地域の中でいきいきと暮らせる環境づくりを進めます。

<主な施策>

- (1)地域における交流活動の充実
- (2)社会参加・生きがいづくりの推進
- (3)外出しやすい環境の整備



協働による計画の推進

地域福祉活動の主役は地域に生活している住民自身です。住みなれた地域で支え合い、助け合える地域社会を実現するためには、行政や社会福祉協議会の取り組みだけでなく、地域住民の主体的な取り組みが不可欠です。

個人や地域で取り組んでほしいこと（主なもの）

- 困ったことが起きたときには、一人で抱え込んだり、家族だけで解決しようとしたりせず、身近な人や相談窓口を利用しましょう。
- 地域の住民同士であいさつを交わしたり、お互いに関心を持ち、顔の見える関係づくりをしましょう。
- 地域の現状や課題について考えてみましょう。
- 身近なボランティア活動、地域活動に参加してみましょう。
- 気づいた困りごとについて、話し合える地域をつくりましょう。
- 誰もが活動に参加しやすい雰囲気づくりを、地域全体で作りましょう。



計画は町ホームページ又は福祉課及び社会福祉協議会の窓口でご覧いただけます。

問い合わせ先 福祉課 TEL 0859-68-5534